

3・11 福島を忘れない！

「豊田直巳写真展『あの日から・・・原発震災（ルトダウ）の現在と未来』」  
来場者の“声”

〔あなたの声を・・・〕

ご覧になられた方に、一声をタックシールに書いてボードに貼ってもらうようお願いしました。

☆

やさしい歌が好きです  
やさしい瞳が好きです  
やさしい声が好きです

やさしい雨に打たれながら  
やさしい風に吹かれながら  
やさしい道を歩いて行こう

やさしい花が咲く  
やさしい大地にたどり着いたなら  
やさしい人々と歌を歌おう  
やさしい人々と踊りを踊ろう

君と手をつないでいこう

☆

今の時代  
コンピューターや様々な物が進化しました。  
けれども人間は少しも進歩していない。  
人間一人一人が  
過去を悔やまず  
未来を夢見ず  
ただこの一瞬を精一杯生きること。  
たったこれだけの事なのに・・・。  
人間の身勝手な考え、行動によって18000人の尊い命を失ってしまった。  
自分に責任を持って強く生きよう。  
思いやりの心をもって…………。

☆

福島の子供達、酪農家の皆様の姿を見て胸がつまる思いです。  
汚染はずっと続くでしょう。新潟も他人事ではありません。今でも新潟市の水道からはセシウムが出続けています。（文科省のHPを見てください）セシウムということはストロンチウムも・・・。  
東日本にいる限り逃れられない。子供達を健康に育てられるのか？ 不安はつきません。

原発さえなければ！！ 再稼動には反対です。

☆

餓死した牛を見て涙しました。  
原発はやはりどんなに備えても危ないと思います。

☆

震災は誰でも止められないが原発は人間の手で止めることが出来る筈だ！！

☆

生きることでは何かを感じられる。  
光は必ず訪れる。  
皆何か問題を抱えている。  
光を目指して生きよう。

☆

写真を見てつい考えさせられた 今の福島の実現を 今の地震予知ばっか考えている学者や  
現実を見ない東電や政治家にも見てほしい  
一日でも早く原発をなくし新たな自然エネルギーのクリーンな未来にしたい

☆

東海村の臨界事故は放射能による影響は人間の手には負えるものではないことを教えてくれます。  
管理・コントロールできないものをこれ以上増やすのはやめにしませんか。

☆

忘れた頃に災害はやってくる！ まだ終わっていない！ 動物も救出してください！

☆

南無妙法蓮華經

☆

3月11日、いつもと変わらない日をすごしていたのに、とつぜん大きなじしんがおこり、  
大きな波がせまってくる。いつも仲良くいた友達、いつも一緒にいた家族がいっしょんにし  
て、失われた。なにげなくいつもくらしていた生活が津波にうばわれた。そのようにいつも  
一つ一つの時間を大切にしないと、言いたかったことが言えないかもしれない。だから、こ  
の教訓を忘れずに亡くなったかたの分も、一生けん命、希望を忘れずに生きて生きたい。送  
思った。

☆

人を支えられるのは 同じ 人だけです。 忘れないで。

☆

3月11日、あの日のことはみんながひさい者にかわいそうと思ったと思います。でも私は最初かわいそうとすごく思ったけれど、今はこのしんさいのおかげで、たくさんのことを学べたと思い、感謝しています。しんさいが起きて、良かったとはぜんぜん思わないけれど、感謝はできます。あと、しんさいがあっても、がんばって生きようとするひさい者の方々は本当にすごいと思いました。私なら、最初は、家族や、最愛の人を失ったら、まだ希望なんて見えないと思いました。ふっこうをおうえんしています。これからも希望を持ち続けてください。

☆

胸がつまる思いです。 忘れません。 そして支えます。ずっと。

☆

人々が今まで大切にしてきた生活が壊されてしまう切なさを感じました。  
大切な人を失った人。  
大切な仕事を失った人。  
そして自ら死を選ぶことになってしまった人。  
今も生活の不安におびえる人。  
本当に切ないです。

日々のニュースだけでは、わからないことを感じる事ができました。悲しみに思いを寄せて、原発や復興について考えていきたいと思います。

☆

何かやだね

☆

写真を見て ただただ 涙が出るばかりです…。

☆

写真を見て涙が出そうになりました。テレビからでは伝わり切らない、ひ災者達のつらい現実。  
何か力になりたいと思いつつも、行動出来ない自分が悔しいです。

今できるのは亡くなった方々の分も一生懸命に生きていくこと、そして、3・11を忘れないこと。

少しでも早い復興を願っています。

☆

売国奴である民主党を忘れるな

☆

昨年、豊田さんの取材したスライドを見て、更に飯舘村の区長さんの長谷川健一さんの「原発にふるさとをうばわれて」の講演を聞く機会がありました。今日又この写真展を見て涙を禁じ得ません。

新聞、テレビの報道は、かかさずみっていますが、二年を経てこのありさま、胸がいたみます。

何が復興で何が再建かと怒りがこみあげて来ます。再稼動？ じょうだんもいかげんにセイ！

☆

牛を見送る御夫婦の後姿がせつなく思いました。忘れてはいけない現実だと思います。これからも、その現実から目をそむけず、前向きに歩いて頂きたいと思います。子供達のマスク姿、いつの日か、マスクがない姿で歩いてほしいです。

写真展を見れてよかったです。被災された方へ何もできていない自分ですが、これからは、もっと寄り添っていけるようにしたいと思いました。

☆

ただじっと見てみる。2年前のあの日、どうしていたのだろう、を思い起こす。確かに不安だった。今も不安は残っている、残っているだけではない。また、「再稼動」という新たな不安が湧いてくる。

☆

ただちに原発をはいしせよ。

☆

いつ来るか分からない災害  
日ごろからそなえをしたいと思います

☆

今もなお子どもたちは被曝しているのです。

☆

**NO!! NUKES!!**

福島にいつも寄り添っています！！

☆

- ・ 福島の実現から目をそらそうとしている人々がいます。
- ・ 新潟も、東京も、同じ惨状となる危機だったことを忘れてはならないと思います。
- ・ 農業県の新潟で、原発の稼動は許せません。

☆

がんばろう東北！ 負けるな東北！

☆

涙がでます。ただただ。  
原発は私達の大地に、子供達の大地になんてことをしてくれたんだ。  
悔しい気持ちで一杯です。

☆

知識のない私には原発の良し悪しはわかりません。どんなものにもリスクはあります。地震、自然災害がおこればなおさらです。  
防げなかったのでしょうか。そんなことはなかったのではないのでしょうか。  
知識をつけます。現地ボランティアにも行っています。力になりたいです。少しでも力になりたいです。

☆

「3・11」と聞くだけで涙が浮かんでくるのは私だけではないのでしょうか。  
大切な家族が切り離されてしまう。強制的に。  
でも子どもたちは誰もうらみません。そのまま受け入れ必死に今日を生きている。  
私たち大人たちができることをそれぞれしっかりやっていきましょう。  
“子どもの未来のために”

☆

原発は悲しみしか残しませんでした。これからも・・・

☆

写真展、ありがとうございます。現地の様子が、足を運んでいない私にも、少し伝わりました。

同じ日本で・・・

私は新潟が大好きです。やっぱり生まれ育った故郷という場所を大切にしていきたい。そう強く思いました。

まずは、これを見た人が目の前にある“当たり前”に感謝していけたらいいなと思いました。

☆

原発は人災です。  
NO NUKES  
再稼動はゆるせません。

☆

テレビ、新聞等で分かっていたつもり、でも、でも、でも。この写真展を見て改めて涙がこ

み上げて来た。

でも、でも、でも、本当に自分の身に振りかかった人たちの人達の悲しみ、せつなさは、こんなものでないと分かっている。

自分が少しでもお手伝いできる事は募金すること位でしかない。

被災者の皆さん 頑張ってください！！

☆

NHKのラジオで知り、見せていただきましたが、涙が・・・。

どうぞ皆様・・・ただ涙で言葉もありません・・・。

皆で忘れず支えていかないと・・・ずっと。

☆

2年がすぎ 地震と津波からは 「復興」と希望が見えますが。

原発の処理は未だ終わっていません。

被災された方々の生活保障も置き去りにされたままです。

この写真の現実から原発はすぐに全部廃炉を思わざるをえません。

廃炉後も危険は伴います。

☆

人は、ささえられて人になる

ささえられない

☆

当時、私は中学生で授業中に地震が起きてすごく怖かったです。皆さんは私の倍以上でしたでしょう。

「がんばって！」 なんてかんたんに言えませんが、私はこれしか言えません。

がんばれ！ たまに泣いて、いつも笑って。 それでも前を向いて、がんばってください！！

☆

根本的になぜ有害であるエネルギー源を使い続けるのか？ 最初から分かっているのに

原発も原爆も同じ 地球に必要なし

☆

原発は恐ろしい限りない被害を及ぼすもの！！

福島の人々がこのように悲惨な目にあっている写真での現状を見てもわかります！！

一日も早く原発を無くしたい気持ちにかられました。

☆

こんな、バカげた “負” があるものか！

☆

Only is not Lonely

☆

今すぐ原発をとめよう！！

☆

ばばすきまもすき　　がんばってね

☆

この写真展を見ての方が思った以上に多く居て、何だか安心しました。  
皆で考える事、想う事、行動に起こす事が大切だと思うからです。

また、こんな写真展をしてください。

---

〔会場アンケートにお答えいただいたものです。〕

☆

動物達の姿が人間の姿に見えました。知らない世界を教えていただきありがとうございます。  
これから私たちの目をさまさせて下さい。

☆

とても衝撃的な写真ばかりで、特にガレキから足をのぞかす写真は撮る方も見る方も心にガツンとくる一枚でまだまだこのような光景がみられている現在も2年前もなんだか変わらないことに自分自身少しやりきれない感でいっぱいです。

☆

明らかな人災、責任を他人のせいにはしないだろうか？  
特に関係者への怒り！  
原発への危険性を多く表現した作品が見る者へ警告と教訓として伝わってくる。  
写真の中の人々の怒り、悲しみ、さみしさ、やり場のない気持ちはどんなであろうかと思う。  
その心の底からの叫びをどういう気持ちでカメラのシャッターを押したのかと思うと、いたたまれない気持ちで、涙が！  
伝えたい、被災者の心と撮影者の気持ちが良く理解できました。

☆

貴重な写真の展示、ありがとうございます。絶対に忘れてはいけないとの思いを強くしました。  
またこのような機会をぜひ続けてください。

☆

写真をありがとうございます。

双葉町に住んでいた友人からメールの返事が来たのは、3・11から1年後で、その後も新潟で心を寄りそわせながらも、生活の大変さをおもんばかってなかなか連絡を取れずにいたり、2年目でさぞ疲れと不安がどっと出てきているのではないかと思ったりしています。新潟で写真展を見せていただきながら、共に生きる人間として、原発の是非に対する思いもニュートラルに受け入れながら（アレクセイの泉という映画を見て感じたことを思い出しながら）自分の中に起こる大きな思いを受け止めて、くじけそうになる気持ちを励ましながら、共に生きている、今ここの幸せと（亡くなった方とともに）これからの希望に焦点を合わせて日々を生きるという思いを再確認させていただきました。ありがとうございました。

☆

被災者だけでなく、シャッターを切る側も大変つらい思いをなさったと思います。それだけ忘れてはいけない出来事だと感じます。

☆

写真を見るまで、震災のことを忘れていた。「忘れない」と各所で聞くが、実際はどうなのだろう。有意義な写真展と思う。

☆

あたり前に普通に生きたかった人々が、いやおうなしに残酷に日常を切り離されてしまった悲劇がたくさんありました。見えざるものを見、聴こえざるものをしっかり聴いて、写真で代弁者となってください。